

第5次中期3カ年経営計画 取組内容

農業

「次世代につながる、もうかる農業の実現を目指します」

評価指標：販売高											
R1年度実績			目標値								
150億円			R2年度 153.8億円 ※			R3年度 155.2億円			R4年度 156.2億円		
内訳											
米穀	園芸畜産	いっぺこ〜と	米穀	園芸畜産	いっぺこ〜と	米穀	園芸畜産	いっぺこ〜と	米穀	園芸畜産	いっぺこ〜と
63.9億円	76.8億円	9.3億円	62.9億円	80.8億円	10億円	63.5億円	81.2億円	10.5億円	64億円	81.2億円	11億円

※ 端数調整の関係上、合計値が内訳の合算と異なります。

重点取組事項1 「販売力の強化」

取組内容	評価指標	R 1 実績	目標値		
			R 2	R 3	R 4
1. 農業振興計画に基づき産地主力園芸品目の維持・拡大を図ります。 ① 農業振興計画について、部会組織と一体となった実践・進捗管理を行い、計画に基づく面積の維持・拡大を図ります。 ② 新規園芸取り組み農家への情報提供や栽培指導会等を行い、園芸との複合経営推進に努めます。	産地最重点園芸品目の栽培合計面積	414.7 ha	446.8 ha	478.5 ha	485.6 ha
2. 農業者の所得の安定と増大のため、新潟米基本戦略の着実な実践による販売力の強化を行います。 ① 農業者手取りの増加と取り扱い数量の増大を目指し、JAへの米の出荷結集の取り組みを促進します。 ② 高品質・良食味米の生産により「新潟みらい産米」のブランド強化や実需者等との連携強化を図り、需要の確保・拡大に努めます。	米穀販売高	63.9億円	62.9億円	63.5億円	64億円
3. 農業者所得向上に向け、多様化するニーズに対応し、販売先から選ばれる産地の確立を目指して、相対・直接販売の強化を行います。 ① 販売先及び部会組織との連携・綿密な情報交換により販売力の強化を目指します。 ② 部会組織との連携により産地情報の発信を行うことで、管内農畜産物のブランド認知度向上を図ります。 ③ 下位等級品の加工向販売の取り組み強化により販売高の底上げを図ります。	相対・直接販売金額	7.2億円	6.8億円	6.9億円	7億円
4. 畜産経営の安定化による所得の確保を図ります。 ① 畜産コンサルと共同で経営診断指導を行い経営の安定化を図ります。	畜産コンサルとの共同指導回数	9回	5回	5回	5回
5. いっぺこ〜とを農業活性化の拠点として位置づけ、集客拡大と出荷生産者の所得向上や生産意欲の向上を図ります。 ① JA新潟みらい特産品を主軸としたイベントの開催を通じて、情報発信や消費者との交流を図り、地域農業やJAへの理解と支持を高め、より一層の集客の拡大を図ります。 ② 広報誌を活用した新規出荷者の募集を行うと共に、各GCとの連携により、いっぺこ〜と出荷者の増加に取り組みます。	いっぺこ〜と販売高	9.3億円	10億円	10.5億円	11億円

重点取組事項2 「農業生産コストの低減」

取組内容	評価指標	R 1 実績	目標値		
			R 2	R 3	R 4
<p>1. 農業者の所得増大に向け農業生産にかかるコストの低減に取り組みます。</p> <p>① 直送可能生産者へ直送肥料・大型規格農薬の利用メリットを提案し、コスト低減に取り組みます。</p> <p>② 銘柄集約肥料として価格の引き下げを実現した国産高度化成（オール14）の利用メリットを提案し、コスト低減に取り組みます。</p> <p>③ 水稲用の低コスト肥料「越後の輝きシリーズ」の利用メリットを提案し、コスト低減に取り組みます。</p> <p>④ 低コスト（直播等）栽培技術提案を通じコスト低減と省力化に取り組みます。</p> <p>⑤ 農業機械講習会の実施による円滑な機械作業の支援を行い、安全意識向上と農作業の効率化に取り組みます。</p> <p>⑥ 低コスト農業を支援するために、農業者への安価タイプ農業機械（トラクター）の提案と推進を行います。</p>	肥料・農薬の予約率	70.6%	75%	80%	85%

重点取組事項3 「農業者への対応力強化」

取組内容	評価指標	R 1 実績	目標値		
			R 2	R 3	R 4
<p>1. 農業者の意見要望に対応するため渉外体制を確立し、営農計画と連携した資材の提案・供給を行います。</p> <p>① 地区にあわせた訪問計画の策定により、定期訪問活動の充実を図ります。</p> <p>② 農業者の営農計画について、営農担当者と経済担当者と連携・情報共有をし、的確な提案を行います。</p>	生産資材供給高	37.5億円	38億円	38.2億円	38.4億円
<p>2. 農業者の資金ニーズへの的確な対応により、農業資金の提供を行います。</p> <p>① 融資担当者による担い手農業者への定期訪問活動を実施し、金融情報の提供や総合的な相談に応えます。</p>	農業資金実行額	9.5億円	9.5億円	10億円	11億円
<p>3. 農業者からの相談対応や経営提案できる営農指導体制の構築を行い、経営支援の強化を図ります。</p> <p>① 体系的な人材育成により、営農担当者の専門性の向上に取り組みます。</p> <p>② 農業者や地域農業が抱える課題の話し合いの場として、役職員による定期的な訪問を行います。</p> <p>③ 農業経営の維持や規模拡大のため、職業紹介事業等を通じたマッチング支援等、地区実態を踏まえた労働力支援策を検討します。</p> <p>④ 集落営農や法人設立等の組織化に向けた相談・支援を強化します。</p> <p>⑤ 地域農業の持続的発展のため、みらい農業振興支援事業を活用し、園芸への取り組みと就農の支援を行います。</p> <p>⑥ 農業後継者、農業法人等を対象に農業経営者育成塾を開講し、経営基礎知識の習得と経営ビジョンの策定支援に取り組みます。</p> <p>⑦ 人・農地プランに沿った担い手・地域の中心経営体への農地集積に農地中間管理機構を活用して取り組みます。</p> <p>⑧ 記帳代行を行う体制づくりに取り組みます。</p>	支援チーム体制の構築	-	検討	運用	運用

取組内容		評価指標	R 1 実績	目標値		
				R 2	R 3	R 4
4.	食の安全確保対策の徹底を行います。	残留農薬 自主検査	108点	107点	107点	107点
	① 安全・安心な農畜産物を消費者にアピールするために関係機関と連携し GAPの取り組みの拡大に努めます。					

地域

「農を軸として地域をつなぐ架け橋となる存在を目指します」

重点取組事項1 「対象者のニーズに応じた広報活動」

取組内容	評価指標	R1実績	目標値		
			R2	R3	R4
1. 地域の農業や暮らしについて関心と共感を持つ人を増やせるような広報活動に取り組みます。 ① 組合員や地域住民へより身近な地元の情報を届けるために、地区ごとの広報活動を充実します。 ② WEB・SNS等の活用により幅広い利用者へ情報の発信を行います。	全支店 支店だより 発行頻度	1回～12回	季刊発行	隔月発行	毎月発行

重点取組事項2 「豊かな暮らしにつながる活動の場の提供や提案」

取組内容	評価指標	R1実績	目標値		
			R2	R3	R4
1. 組合員や地域住民を対象とした協同活動の取り組みを通じて、JAファンづくりと地域の活性化を目指します。 ① 地域農業への理解と振興のために、楽しめる食農教育として親子あぐりスクールを開催します。 ② より身近にJAを感じていただきJAファンづくりのためのグループ活動として、健康教室や料理教室等を開催します。 ③ 地域におけるJAへの理解やつながりを深めるため、支店を中心とした地域貢献活動などに取り組みます。	親子あぐり スクール開催数	4回	4回	4回	4回
	グループ活動 開催数	4回	4回	4回	4回
	地域貢献等 活動数	17回	13回	13回	13回
2. 総合的に相談対応ができる職員を育成し、豊かな暮らしにつながる提案を行います。 ① 知識の向上に努め、貯金・貸出・共済・相続等、的確な相談対応ができる職員を育成します。 ② 円滑な資産承継の手助けとなる相続前相談、相続セミナーを開催します。 ③ いっぺこ～とにおいてJAカード・年金・ローン・共済等、金融共済商品の情報発信と提案を行います。	ファイナンシャル・プランナー 新規資格取得数	8人	10人	10人	10人

経営

「環境変化に対応した健全経営を目指します」

重点取組事項1 「健全経営の継続のための収支改善」

取組内容	評価指標	R 1 実績	目標値		
			R 2	R 3	R 4
1. 部門別採算性の見直しと実践により、経営基盤の強化を図ります。 ① 経済事業強化のため、収益を考慮した事業（業務）内容の見直しを行うとともに、業務の効率化を図ります。 ② 戸配送業務の安定的な継続のため、物流業務の効率化を行い、物流コストの低減に取り組みます。	経済事業の収支改善の実施	—	実施	実施	検証
2. 健全経営のため店舗収益力の維持に努めます。 ① 年金の的確な相談対応と手続支援に取り組みます。 ② 各種キャンペーンの展開により貸出金の伸長に取り組みます。 ③ 渉外担当者の積極的な訪問活動により未保障・低保障を解消し、充実した保障提供に努めます。	貯金残高	1,396億円	1,402億円	1,406億円	1,416億円
	貸出金残高	404億円	415億円	416億円	429億円
	共済推進ポイント	1,366万P	1,575万P	1,575万P	1,575万P

重点取組事項2 「適切な評価・計画的な人材育成」

取組内容	評価指標	R 1 実績	目標値		
			R 2	R 3	R 4
1. 人事労務基本方針に定める人事ローテーションの見直しと実践により、組合員との繋がりを強化し、組合員サービスを追求できる体制を構築します。	人材育成型ジョブローテーション（配置転換）の構築	—	検討	実行	実行